



11月トリアだより



月	火	水	木	金	土
			<p>1 感触・ルール</p> <p>スモック</p>		<p>2 屋外 (茶話会)</p> <p>帽子</p>
<p>4 (振替休日)</p>	<p>5 音楽・絵画</p> <p>スモック</p>	<p>6 手指</p> <p>(早降園日)</p>	<p>7 園外療育 (水族館)</p> <p>帽子・お弁当・水筒</p>	<p>8 運動 認知課題</p>	<p>9 休み</p>
<p>11 音楽・絵画</p> <p>スモック</p>	<p>12 屋外・手指</p> <p>帽子</p>	<p>13 感触・ルール (公開療育)</p> <p>スモック</p>	<p>14 運動 認知課題</p>	<p>15 音楽・絵画</p> <p>スモック</p>	<p>16 認知課題 (お買い物ごっこ)</p>
<p>18 屋外・手指</p> <p>帽子</p>	<p>19 感触・ルール</p> <p>スモック</p>	<p>20 運動 認知課題</p>	<p>21 音楽・絵画</p> <p>スモック</p>	<p>22 屋外(勤労感謝) 認知課題</p> <p>帽子</p>	<p>23 休み</p>
<p>25 感触・ルール</p> <p>スモック</p>	<p>26 運動 認知課題</p>	<p>27 音楽 お誕生会</p>	<p>28 屋外・手指</p> <p>(避難訓練) 帽子</p>	<p>29 ルール</p> <p>(早降園日)</p>	<p>30 休み</p>

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本)：2日(土)、15日(金)、21日(木)

言語聴覚士(永山)：1日(金)、5日(火)、9日(土)、11日(月)、20日(水)、22日(金)

理学療法士(樋口)：6日(水)、7日(木)、16日(土)、27日(水)

作業療法士(大平)：8日(金)、13日(水)、18日(月)、29日(金)





※当日のキャンセル連絡は、8時45分までに連絡をお願い致します。8時45分以降の連絡になりますと昼食代(297円)が発生します。

- ・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、ご連絡させていただきます。
- ・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までにご登園下さい。給食準備の為、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・11月7日(木)の園外療育の詳細につきましては、後日コドモンでお知らせいたしますので、ご確認ください。
- ・13日(水)の公開療育は、外部の方が来園し、療育を見学する予定となっております。保護者の参観ではありませんので、ご了承ください。
- ・22日(金)の屋外では、中央消防署南林寺分遣隊に制作で作った作品を渡しに行きます。雨天や消防署員が緊急出動している際は中止となりますのでご了承ください
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、ズボン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



こんにちは。今回は「遊び」についてのお話です。みなさんが幼いころに夢中になった遊びは何ですか？子どもにとって「遊び」は身体と心の成長のために欠かせないものです。遊びを通して、運動や友だち関係、集中力、挑戦する気持ち、さまざまな認知能力や考える力を発達させていきます。遊びは本来、興味や好奇心、身近な人との関わりから自然にうまれるもので、無理にさせられたり、大人が「指導」したりするものではありません。子どもは遊びに満足できれば、自分から繰り返し行い、より難しい遊びにも挑戦していくことでしよう。

しかし、中には「遊びに興味をもたない」「いつも同じ遊びばかり」というお子さんもいるのではないのでしょうか。その場合は「楽しいから少し難しくてもチャレンジできる」、「誰かと一緒にするとチャレンジできる」というように大人が介入し調整してあげるとよいでしょう。

子どもは自分のレベルよりも少しだけ上の課題を達成できた時が最も楽しく感じられます。

特別な準備をしなくても身近にあるもの(新聞紙・ペットボトル・段ボールなど)が立派な遊び道具になります。子どものアイデアを取り入れてルールを決めることで盛り上がることもあるでしょう。小学校高学年くらいになると遊びだけにこだわらず、お手伝いや趣味・スポーツなどを活用するのもよいと思います。時間帯に縛られずにより自然体で過ごせる家庭は、1人1人の個性に合わせた提案ができる場所になります。保護者の皆さんがお子さんの好きなことや興味のあること・強みや苦手なことを理解して、達成感を持てるような応援(うまくできたタイミングでのことばかけ)を意識することで次の意欲に繋がるでしょう。また一緒に遊べる時には大人も一緒になって本気で楽しみましょう。小さい頃にはまった遊び(得意だった遊び)をぜひ披露し、ご家族で共有してみたいはいかがでしょうか。

もし「遊びの工夫をなかなか思いつかない」という時には、落穂会の事業所の職員や作業療法士、理学療法士などにお気軽にご相談ください。療育の見学へもどうぞお越しください。一緒に子どもさんにとっても楽しい遊びをさがしていきましょう。

作業療法士
大平 優希

